ASAHI GAWASOU DAYORI

製品づくりや作業に取り組む真庭地域センターの利用者　（2面に関連記事）

旭川荘だより

vol. 215

2016.06.01 発行

CONTENTS

P3　熊本地震　看護師を派遣
P4-5　平成27年度事業報告および決算報告
P6　子どもまつり開催
P7　レシピ　なすと豚肉のつけ麺風そうめん

結びの杜ホームに交通安全体験車（6面に関連記事）

発行／社会福祉法人 旭川荘
〒703-8555 岡山市北区祇園866
TEL 086-275-0131 FAX 086-275-5640
http://www.asahigawasou.or.jp

真庭地域センター開所２年
製品、請負作業など通じ地域と絆深める

旭川荘真庭地域センター（真庭市湯原温泉）が開所して２年。「みずき」（就労継続支援Ｂ型）、「かりん」（生活介護事業）、「さくら」（重症心身障害児・者通園事業）では、ものづくりや請負作業などの“仕事”を通して地域の人たちとふれあい、絆を深めています。

地域とつながりたい

「さくら」内の成人期の人たちのグループ。「重い障害があっても、ものづくりを通して地域の人たちとつながりたい」と昨秋「さくらのはな工房」を立ち上げ、フェルト玉作りに取り組んでいます。取材の日は４人が参加。材料の羊毛フェルトを取っ手付きのかごに入れて振ったり、フードプロセッサーの振動を利用したり、それぞれに合ったやり方で球状に丸めます。できたフェルト玉は、家族やボランティア、職員が布切れと縫い合わせてコサージュに。木のフォトフレームやクリップにフェルト玉をアレンジしたアイテムも制作しています。

フェルト玉を使った製品＝さくらのはな工房

これらの製品は工房の活動を紹介するメッセージを付けて、温泉街の「温泉ミュージアム」に置かせてもらっています。利用者の想いに共感した人たちの間で話題となり、昨年12月には真庭市の愛育委員さんからイベント用にコサージュの注文を受け、利用者も真庭市役所に行って納品に立ち会いました。さくらの利用者で、フェイスブックを使って活動をPRする“広報部長”の中芝伸輔さん（21歳）は「多くの人が手に取ってくれ、とても嬉しい。みんなに喜んでもらえるよう、いいものを作り続けていきたい」と意欲を見せています。

「かりん」の利用者10人もリサイクル活動や畑仕事を通して地域とつながりを持っています。家族らが持ち寄ったアルミ缶はプルタブを外してつぶし、ペットボトルはラベルをはがして、再利用できる資源として分別。開所当初から同センターの近くに借りている畑は、GW明けに夏野菜の植え付けを終えたところで、地元の人から野菜の種をいただいたり、栽培のコツを教わったりするといった交流が続いています。

近隣の人から借りた畑で野菜づくり＝かりん

木のまちのお土産、ギフトに

15人の利用者が働く「みずき」。開所時から特産のヒノキを使い、湯原地区ゆかりの「はんざき」（オオサンショウウオ）をモチーフにしたパズルや知育玩具を制作。温泉街の売店では“木のまち真庭”のお土産として人気を博しています。

子どもの手にもなじむよう磨き上げます＝みずき

材木のカットや組み立ては経験のある職員が行い、利用者は主に「磨き」を担当。指先で木肌の感触を確かめながら、サンドペーパーで仕上げます。磨き終えた木片を触らせてもらうと、木そのものが柔らかく感じるほど表面が滑らか。丁寧な仕事ぶりが伝わってきます。

また本年度からスタートした、新生児に木のおもちゃを贈る真庭市の「“里山まにわ”からの贈り物事業」にも協力。プレゼントは市内３施設の３製品から選べ、同センターの「積み木」の注文も好調。納期を目指し、制作に追われています。

このほか地元企業から請け負った自動車部品のバリ取りや組み立て、土産物のレトルトカレーのパッケージ封入などの仕事にも取り組んでいます。さらに真庭市が４月に整備した「ゆばら湯っ足り広場」の清掃を新たに請け負うなど、順調に活動を広げています。

「たくさんのボランティアが関わってくれ、企業なども『協力できることはないか』と声を掛けてくれる。 仕事が増え、手掛けた製品がたくさん売れることは利用者のやりがいにもつながり、本当にありがたい」と須田篤人所長。「地域の人たちとの絆を大切に、利用者にも『ここに通ってよかった』と思ってもらえるよう、いいサービスを提供していきたい」と話しています。

熊本地震　療育・医療センターの看護師を派遣

旭川荘療育・医療センターの看護師が5月4日から7日まで熊本市内の避難所に派遣され、被災者の診療活動に従事しました。

4月に発生した熊本地震の被災地では発災直後からJMAT（日本医師会災害医療チーム）が活動しており、岡山県医師会も4月21日から4日間交代でチームを派遣しています。療育・医療センターの太田博美看護師は、医師1人、看護師2人、薬剤師1人のチームの一員として、公共施設の駐車場で車中泊やテント泊をしている被災者の診療に携わりました。

チームの報告では、症状としては車中泊による腰痛や頸部痛、家の片付け中の負傷などが多かったほか、子どもの心の乱れ、母親の不眠なども見られ、継続的な支援の必要性が指摘されました。

旭川荘では引き続き、派遣可能な職員を県などに登録し災害支援の準備を整えています。

避難所で診療の準備をする太田看護師(左)ら

いんべ通園センターの短期入所棟完成 関係者集い竣工式

いんべ通園センター（備前市伊部）の短期入所棟が完成し、5月11日に竣工式が行われました。障害のある人を対象にした短期入所施設は備前市では初めて。同センターでは4月から利用者の受け入れをスタートしています。

式典には旭川荘の役職員や利用者、家族、吉村武司備前市長をはじめ地元関係者など約40人が出席。末光茂理事長はあいさつの中で、平成14年の開所から障害種別や年齢にかかわらず幅広い事業を展開してきた同センターのあゆみに触れ、「今後も地域の障害者の幅広いニーズに応えていきたい」と述べました。

短期入所棟はバリアフリー対応の木造平屋（約90㎡）で、同センターの西側に新設。備前市の市の花にちなみ「さつき」と名付けられました。定員3人で個室のほか食堂、風呂などを完備しています。

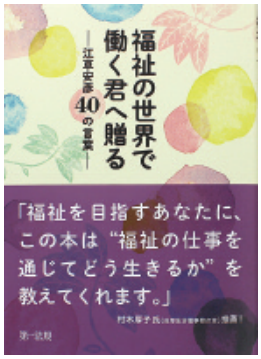
完成した短期入所棟

「福祉の世界で働く君へ贈る」　江草先生の本出版

江草安彦先生の言葉を紹介した書籍「福祉の世界で働く君へ贈る－江草安彦40の言葉－」が、5月に第一法規(株)から出版されました。

江草先生は障害医療福祉、高齢福祉の先駆者として全国的に活躍し、医療福祉現場の多くの方々の人生に影響を与えました。本書は「生きるための福祉から、生きる意味がある暮らしへ」「行動を起こした者だけが新しい時代を創ることができます」などの先生の言葉を、著書や本紙の連載、新聞記事、関係者への取材から抽出。現代の福祉現場で思い悩む若き職員が、それらの言葉から解決を導き出すヒントを記しています。

人材確保が問題となる福祉業界に一つの指針を示しうる本書。A5判208頁で定価は2,160円（税込）です。お問い合わせは第一法規（電話0120-203-694）まで。



前厚生労働事務次官の村木厚子氏も推薦

平成27年度事業報告および決算報告

事業報告（概要）

1　法人本部

(1) 旭川荘創立60周年記念事業の実施
- 記念式典の開催（11月10日、400名参加）
- 「悠久の庭」の整備（先人顕彰碑、設立趣意書及び沿革の碑、香淳皇后御歌碑）（9月5日竣工式、80名参加）
- 写真集「旭川荘ものがたり」（11月）

(2) 江草名誉理事長の追悼行事
- 「お別れの会」の開催（4月18日　1,600名）
- 追悼写真展の開催（資料館6月22日～7月31日　950名、真庭市9月28日～10月8日　400名、笠岡市10月16日～31日　426名）
- 追悼講演会の開催（7月22日、さん太ホール250名）
- 「江草安彦を語る」及び「江草安彦伝」の出版（協力）（28年3月）

(3) 経営基盤の安定対策
調整額等の見直しによる人件費の適正化、施設整備積立金の積増し

(4) 他団体との人事交流
総社市、全国社会福祉協議会、（福）みその児童福祉会

2　安全・防災

(1) 防災訓練の実施
- 水防訓練　ひらた支部（7月1日）、祇園地区（7月2日）、愛媛支部（7月15日）
- 地震防災訓練　祇園地区（10月16日）、愛媛支部（28年2月17日）、備前支部（11月16日）
- 土砂災害を想定した防災訓練　備中支部（9月3日）

(2) 東北被災地支援のための看護師の派遣（福島県南相馬市）（4月～28年3月延4人）

3　障害福祉分野

(1) 旭川学園の建替（8月完成、9月5日竣工式80名参加）
(2) いづみ寮の耐震化建替（第Ⅰ期工事）（個室・ユニット化）（28年3月28日完成）
(3) 多機能型施設「あおば」4月事業開始（わかば青年寮とみどりワークセンターの統合）
(4) いんべ通園センターの「短期入所棟」の整備（28年2月28日完成）
(5) 就労支援事業における特色ある製品づくりと販路開拓等
マンゴー栽培の拡充（34株）（せとうち旭川荘）、夏秋トマト耕作面積の拡張（5a）、りんごジャム及び「りんご材はんこ」の商品化（望の丘ワークセンター）、ペットフードの製造（わかば寮）、地域住民への日用品配達サービス（望の丘ワークセンター）
(6) わかくさ学園いちごの「児童発達支援センター」への移行（12月1日）
(7) ぎおんハイツの事業廃止（28年3月）

4　高齢者福祉分野

(1) 多職種協働による看取りへの積極的な取組み（旭川敬老園（4月～20名）、ひだまり苑（4月～10名））
(2) 各事業所・医療機関との連携による「地域包括ケアサービス」の充実（ひだまり苑）
(3) 「訪問看護ステーション旭川荘」に「訪問看護ステーション結びの杜」を統合（「結びの杜」をサテライト化）（4月）
(4) 特殊浴槽を活用した重度の利用者の受入促進（デイサービスセンター敬老園4月～延1,441名）

5　児童福祉分野

(1) 旭川乳児院の耐震化建替の準備（28年6月着工予定）
(2) テレビ電話等の活用による家族とのコミュニケーションの強化（津島児童学院4月～13名）
(3) 学童保育利用児の対象年齢引上げ（さくら児童館　月平均延435名）
(4) 世代を超えた交流行事、育児相談等の実施（三世代交流センター）（4月～延利用者 2,474名）、いも苗の植付け（5月21日）、お楽しみ会（6月、8月）、わらべ歌遊び（7月）等

6　医療福祉分野

(1) ポストNICU病棟への積極的受入（旭川荘療育・医療センター 3月末現在12名）
(2) 地域に密着した在宅訪問歯科診療の充実（川上診療所4月～1,134件）
(3) 「吃音外来」の実施（南愛媛病院8月～16件）
(4) 訪問リハビリテーションサービスの実施（北宇和病院4月～1,088件）
(5) 障害児者の地域生活支援のための相談支援事業の強化（南愛媛療育センター 4月～2,623件）
(6) 指定管理継続について鬼北町との協議（北宇和病院　28年4月～5年間延長）
(7) 備中診療所及び平川出張診療所の指定管理の辞退（28年3月）
(8) 発達障害児の家族向け研修会の開催（療育・医療センター 11回延361名参加）

7　教育・研修分野

(1) 職員研修の充実
障害医療福祉セミナー（8月、荘内外160名）、新任者研修（2回）、主任研修（2回）、管理監督者研修（9月）、職能別研修（看護、介護・リハビリ）、テーマ別研修（2回）、個別支援計画学習会（10月末）等
(2) 厚生専門学院吉井川キャンパスの学校法人旭川荘への移管（4月）
(3) 総合研究所の活性化
- 講演会の開催（3回、延355名）
- 医療福祉学会の開催（12月10日・11日　研究発表、特別講演会等）

8　国際協力分野

(1) 海外研修生・視察団の受入（上海市2回11名、韓国1回9名、ドイツ1回14名、ミャンマー 1回2名）
(2) 「旭川荘国際交流35年のあゆみ」の発刊（5月）
(3) 「高齢者介護の基礎講座」中国語版の刊行（4月）

9　地域公益活動

(1) 中山間地の経済的困窮者や社会的孤立者に対し、状態悪化時の搬送及び見守り等の必要な医療機会の提供（川上診療所9件）
(2) 「健康づくり講演会」（3回延195名）、「鬼北町の医療と介護の未来を考えるシンポジウム」（28年2月13日、200名）の開催（愛媛支部）
(3) 小学生の結び織り「ワークショップ」（8月、4回、アトリエ夢工房）
小学生「福祉体験バス」（8月19日、親子17名参加）

10　その他

(1) 旭川荘ミュージックアカデミーの活動（毎週土曜日）
(2) 健康・生きがい学会においてミニオペラの公演（11月21日 川崎医療福祉大学）
(3) 旭川荘アートギャラリー作品の移動展示（トマト銀行、旭東病院、中国銀行、県庁等8カ所）
(4) 障害者スポーツの振興
ティーボール西日本交歓大会（11月3日）、ボッチャ交流大会（11月15日）の開催、全国障害者スポーツ大会への参加（陸上競技、ソフトボール、卓球、10月24日～26日）
(5) 環境福祉への取組み
第8回環境福祉フェアの開催（10月24日、結びの杜 1,800名）、太陽光発電の導入（かわかみ地域生活ホーム）、みどりのカーテンづくり

《参　考》　旭川荘の現況（平成28年4月1日現在）

1　施設数及び利用定員

区　分	施設数	利用定員（人）
障害福祉分野	63	1,172
高齢福祉分野	8	352
児童福祉分野	3	116
医療福祉分野	8	689
教育・研修分野	3	－
合　計	85	2,329

※ 障害福祉分野39のグループホーム（定員167人）を含む。

2　職員数の状況
2, 230人（臨時職員を含む）

評議員会・理事会報告

平成28年度第1回評議員会・理事会を5月27日、ホテルグランヴィア岡山(岡山市北区駅元町)で開催しました。

当日の会議では、平成27年度事業報告、平成27年度決算報告、平成28年度追加施設整備事業、定款の一部変更など7件の議案と3件の報告案件が審議され、いずれの案件も原案どおり承認されました。

決算報告（概要）

平成27年度の資金収支及び事業活動は2事業（50拠点）で**別表1**のとおりです。また、貸借対照表は**別表2**、財産目録は**別表3**のとおりです。

なお、事業活動計算書を科目別にみると**別表4**に示すグラフのとおりです。

別表１

◇平成27年度資金収支及び事業活動計算書総括表（拠点区分別）◇

平成28年３月31日現在　（単位：千円）

会計区分	拠点区分名	資金収支計算書 決算額 収入	資金収支計算書 決算額 支出	資金収支計算書 当期資金収支差額	資金収支計算書 当期末支払資金残高	事業活動計算書 決算額 収入	事業活動計算書 決算額 支出	事業活動計算書 当期活動収支差額	事業活動計算書 当期末繰越活動収支差額
社会福祉事業	法人本部	587,322	554,503	32,819	204,821	871,208	674,734	196,474	393,097
	旭川療育園	507,670	524,315	△ 16,645	158,427	507,670	534,613	△ 26,943	△ 479,616
	竜ノ口寮	453,737	451,277	2,460	150,990	453,737	453,432	305	92,822
	吉備ワークホーム	172,498	168,212	4,286	76,812	172,498	163,422	9,076	109,380
	旭川学園	250,973	454,512	△ 203,539	44,251	270,493	318,934	△ 48,441	42,459
	愛育寮	391,448	386,029	5,419	107,162	391,448	384,485	6,963	285,760
	いづみ寮	668,152	692,334	△ 24,182	114,306	472,852	474,742	△ 1,890	169,629
	あおば	135,618	128,473	7,145	72,316	135,618	130,848	4,770	75,669
	ぎおんハイツ	73,329	68,486	4,843	9,874	73,329	69,935	3,394	1,364
	デイセンターあかしや	45,158	41,009	4,149	33,867	45,158	37,737	7,421	43,099
	旭川児童院	4,648,472	4,601,945	46,527	949,982	4,638,472	4,724,453	△ 85,981	3,688,783
	児童院通園センター	78,945	78,945	0	0	78,945	78,945	0	0
	みどり学園	80,374	73,624	6,750	59,794	80,374	67,192	13,182	65,848
	旭川乳児院	262,173	245,633	16,540	57,220	262,173	231,825	30,348	95,315
	旭川敬老園	593,292	616,666	△ 23,374	238,251	589,542	572,912	16,630	363,634
	総合在宅支援センター	131,283	129,108	2,175	55,194	130,908	132,049	△ 1,141	43,961
	グループホームはなみずき	40,356	40,542	△ 186	12,776	40,356	40,883	△ 527	32,775
	のぞみ寮	245,544	236,629	8,915	80,559	245,544	253,067	△ 7,523	122,345
	わかば寮	271,119	266,806	4,313	101,684	271,119	267,106	4,013	115,140
	かえで寮	288,721	281,359	7,362	85,185	289,631	266,607	23,024	112,210
	わかくさ学園	193,047	202,705	△ 9,658	47,401	193,047	201,743	△ 8,696	56,748
	いんべ通園センター	119,643	125,318	△ 5,675	27,023	94,643	104,908	△ 10,265	31,075
	せとうち旭川荘	108,803	104,335	4,468	26,693	108,291	104,807	3,484	33,895
	津島児童学院	146,416	143,184	3,232	25,668	146,416	124,122	22,294	50,950
	くわのみどりの家	57,445	59,805	△ 2,360	16,722	57,445	59,841	△ 2,396	16,670
	三世代交流センター結びの杜	54,611	56,992	△ 2,381	21,773	52,961	56,456	△ 3,495	54,571
	かわかみ療護園	259,043	247,512	11,531	103,976	259,043	256,615	2,428	250,570
	たかはし松風寮	183,145	175,307	7,838	76,561	183,145	175,609	7,536	86,799
	松山ワークセンター	83,928	79,607	4,321	61,148	83,928	76,469	7,459	78,595
	望の丘ワークセンター	82,981	79,449	3,532	45,521	82,981	77,780	5,201	58,219
	真庭地域センター	102,475	90,380	12,095	27,572	102,475	92,599	9,876	90,490
	南愛媛療育センター	924,742	915,632	9,110	422,247	924,742	888,470	36,272	478,497
	その他７区分	210,036	188,535	21,501	59,520	212,657	191,719	20,938	47,661
	小計（39拠点区分）	12,452,499	12,509,168	△ 56,669	3,575,296	12,522,849	12,289,059	233,790	6,708,414
	拠点区分間取引消去	611,738	611,738	0	0	626,773	626,773	0	0
	社会福祉事業合計①	11,840,761	11,897,430	△ 56,669	3,575,296	11,896,076	11,662,286	233,790	6,708,414
公益事業	あかしや園	3,556	3,472	84	7,471	3,556	5,986	△ 2,430	△ 12,795
	障害者就業・生活支援センター	37,213	36,555	658	1,353	37,213	36,554	659	631
	結びの杜ホーム	111,631	125,897	△ 14,266	10,475	100,431	109,890	△ 9,459	17,697
	平田診療所	13,683	12,757	926	15,934	17,379	11,042	6,337	21,605
	川上診療所	309,501	295,557	13,944	180,654	309,501	270,288	39,213	209,628
	ひだまり苑	339,689	331,201	8,488	124,050	339,689	331,649	8,040	124,522
	備中診療所	102,849	99,515	3,334	64,400	102,849	100,662	2,187	64,401
	南愛媛病院	433,723	416,318	17,405	184,450	433,723	391,101	42,622	206,795
	北宇和病院	803,930	803,930	0	△ 3,603	803,930	800,191	3,739	3,739
	その他２区分	0	58,631	△ 58,631	3,607	209,461	398,643	△ 189,182	3,514
	小計（11拠点区分）	2,155,775	2,183,833	△ 28,058	588,791	2,357,732	2,456,006	△ 98,274	639,737
	拠点区分間取引消去	15,067	15,067	0	0	15,067	15,067	0	0
	公益事業合計②	2,140,708	2,168,766	△ 28,058	588,791	2,342,665	2,440,939	△ 98,274	639,737
	合計（50拠点区分）①+②	13,981,469	14,066,196	△ 84,727	4,164,087	14,238,741	14,103,225	135,516	7,348,151
	事業区分間取引消去	146,885	146,885	0	0	672,416	672,416	0	0
	総合計（50拠点区分）	13,834,584	13,919,311	△ 84,727	4,164,087	13,566,325	13,430,809	135,516	7,348,151

単位未満四捨五入、端数調整せず

別表２ ◇貸借対照表◇

平成28年3月31日現在　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
流動資産	5,153,613	流動負債	1,220,551
現金預金	2,639,589	事業未払金	679,516
事業未収金	2,310,271	１年以内返済予定借入金	227,958
その他の流動資産	203,753	その他の流動負債	313,077
固定資産	15,325,567	固定負債	2,585,724
基本財産	11,724,101	設備資金借入金	2,449,272
土地	201,427	長期運営資金借入金	33,360
建物	11,522,674	その他の固定負債	103,092
その他の固定資産	3,601,466	負債の部合計	3,806,275
土地	180,352	純資産の部	
建物	978,912	基本金	2,582,928
構築物	506,862	国庫補助金等特別積立金	5,383,703
器具及び備品	172,488	その他の積立金	1,519,625
有形リース資産	109,381	次期繰越活動増減差額	7,186,648
積立資産	1,519,625	（うち当期活動増減差額）	135,514
その他の固定資産	133,846	純資産の部合計	16,672,905
資産の部合計	20,479,180	負債及び純資産の部合計	20,479,180

単位未満四捨五入、端数調整せず

別表３ ◇財産目録◇

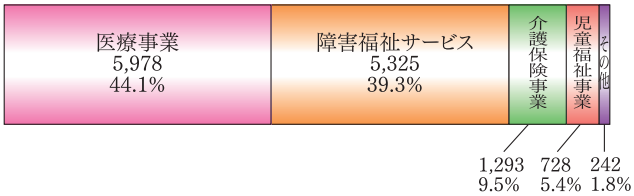
平成28年３月31日現在　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
1. 流動資産	5,153,613	1. 流動負債	1,220,551
2. 固定資産	15,325,567	2. 固定負債	2,585,724
基本財産	11,724,101		
その他の固定資産	3,601,466		
資産合計	20,479,180	負債合計	3,806,275
		差引純資産	16,672,905

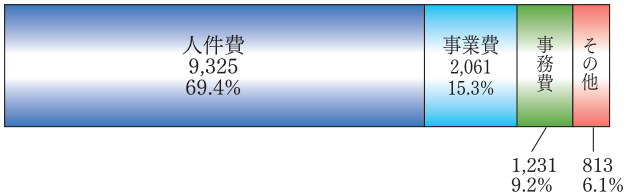
単位未満四捨五入、端数調整せず

別表４ ◇事業活動内訳表（科目別）◇

《収入》総額13,566(100％)（単位：百万円）



《支出》総額13,430(100％)（単位：百万円）



子どもまつり開催　利用者と家族らでにぎわい

「第33回旭川荘子どもまつり」が4月29日、祇園地区の結びの園で開催されました。前日までの曇天から一転、朝からすっきりと晴れ、旭川荘を利用する子どもたちや家族でにぎわいました。

最初に旭川乳児院の子どもたちが、今年1年元気に過ごせるようにとの願いを込めて、鯉のぼりを揚げました。ステージでは、子どもまつり初登場となる市民吹奏楽団「晴吹（はれすい）」がオープニングを飾り、子どもたちお馴染みのアニメソングで楽しませてくれました。また、旭川荘厚生専門学院の児童福祉学科の学生による手遊び歌のほか、旭川療育園、旭川学園、わかくさ学園の子どもたちも「うらじゃ」やダンスを披露、会場は大いに盛り上がりました。

結びの園の周辺に設けられた遊びのコーナーでは、今年初めて「わらべうた＆絵本の読み聞かせ」を導入し、子どもたちにも好評でした。

まつりのオープニングを飾った「晴吹」の皆さん

「牧石ふれあいまつり」に今年も参加　地域との交流を通して旭川荘をPR

買い物客でにぎわう旭川荘のブース

「第28回牧石ふれあいまつり」が4月24日に牧石小学校で開催されました。旭川荘からも製品を作る施設が合同で出店、販売を通じて地域住民と交流を深めました。

あおば、わかば寮、望の丘ワークセンターなど祇園、ひらた、高梁から計8施設が参加し、バッグや陶器、クッキーなどを販売しました。吉備ワークホームの利用者によるセラミックストラップの実演もあり、買い物客が興味深そうに見入っていました。

また今年は出店だけでなく、会場の体育館に創立60周年記念写真展で使用した創設期のモノクロ写真約30点を展示。地域の人たちに旭川荘の歴史を知っていただく良い機会になりました。

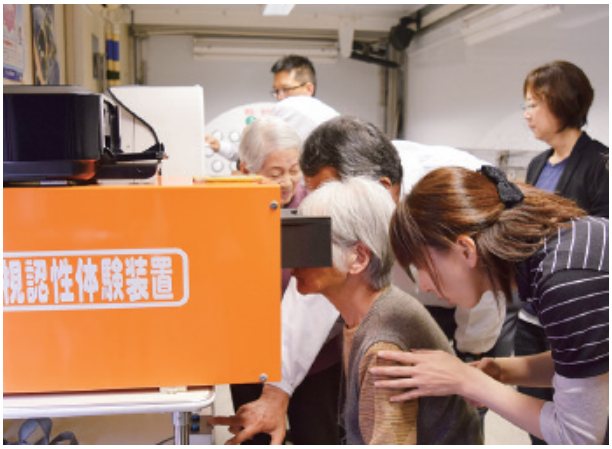
結びの杜ホームに交通安全体験車　利用者らが視機能検査

岡山県警の交通安全体験車を使った交通安全研修が5月10日、結びの杜ホームであり、同ホームの利用者らが同車に搭載された検査機器で「見え方（視機能）」などを確認しました。

高齢者の交通事故の背景に加齢による視機能の低下や判断、動作の衰えがあることから、その危険性を認識してもらおうと、県警の協力を得て初めて実施。同ホームとグループホームよしい川に入居する80歳から97歳の利用者約20人が参加しました。

最初に参加者全員で高齢者向けの交通安全啓発ビデオを視聴。希望者と職員が交通安全体験車に乗り込み、夜間の見え方を確認する検査や視野検査に臨みました。検査後、担当者から「夜間の視認性も問題ない。よく見えてますね」と声を掛けられた中村正之さん（93歳）は「医者からも健康な目だと言われるなど視力には自信があった。いい結果が出てほっとしました」と嬉しそうに話していました。

同ホームの三宅典子所長は「電動シニアカーや手押し車を利用して外出する人もいる。客観的な検査によって視機能が低下していることを知り、より安全に気を付けてもらいたい」と話しています。



検査を受けるグループホームの利用者

なすと豚肉のつけ麺風そうめん

中華風に美味しくアレンジ

○材料（2人分）

豚肉（しゃぶしゃぶ用）	100g
なす	小1本
にんじん	約5cm
いんげん	6～7本
にんにく	1かけ
豆板醤	小さじ2

（辛いのが苦手な人は調節してください）

☆

しょうゆ	大さじ2
みりん	大さじ2
酒	大さじ2
砂糖	小さじ2
ごま油	小さじ1
水	200ml
白ごま	適量

薬味（みょうが、スプラウトなど）お好みで

〈作り方〉

①豚肉は細切り、なすは半月切り、にんじんは千切り、いんげんは3等分にし、にんにくはみじん切りにする。
②熱したフライパンにごま油を入れ、にんにくと豆板醤を弱火で炒める。
③香りがたったら、豚肉を色が変わるまで炒め、野菜も入れて炒める。
④☆を加えて、味を馴染ませたら、水を入れて強火で煮立たせる。
⑤器に盛り付け、白ごま、薬味を添える。

栄養量：1人分
エネルギー：230kcal
たんぱく質：12g
塩分：2.5g

夏になると食べたくなるそうめん。喉越しも良く、暑さで食欲の落ちる季節にはぴったりです。でもいつもワンパターンで飽きてしまう人も多いのでは？今回はピリ辛の中華風にアレンジしました。肉と野菜がたっぷり入っているので、栄養もボリュームも満点です。麺つゆも添えて2種の味を食べ比べるのもおすすめです。冷やしても温かいままでも美味しくいただけます。

（旭川荘療育・医療センター　安藤智里）

ワン ONE POINT ポイント

麺つゆがない！そんな時には手作りしてみませんか。1人分でだし汁 大さじ4、しょうゆ大さじ1、みりん大さじ1、砂糖小さじ1を煮立たせると完成です。かつおぶし1パックを加えて煮立たせるとさらに風味が増します。

リレーコラム

同行二人（どうぎょうにん）～四国遍路～

四国といえば四国88カ所を巡るお遍路さんが有名です。お遍路の目的は、健康祈願、自分探しや開運・縁結びなどそれぞれです。巡礼者が持つ笠には、「同行二人（どうぎょうにん）」という文字が書かれており、一人は自分、そしてもう一人は弘法大師を意味します。つまり、弘法大師様と二人で巡礼の道を歩く、それがお遍路だといわれます。

お遍路は一番札所から番号順に巡る「順打ち」が一般的な巡礼方法ですが、どこから始めてもよいのですよ。また、巡礼の手段も「歩き遍路」「車遍路」などの方法があり、自分のスタイルで好みの回り方を見つけて、自分に合わせて選択できるのがお遍路の良いところです。四国巡礼ではお接待を受けたり休息する場所が各地にあります。

巡礼者が持つ笠

42番札所
仏木寺

障害のある方が地域で一人暮らしをする場合、自宅やグループホーム・施設利用など方法や手段はいろいろあります。また困った時の支援の受け方もいろいろです。そんな支援のお手伝いをするのが相談支援専門員です。この職種ができて10年目を迎えようとしています。障害のある方の人生に少しでも寄り添った支援ができればと思います。同行二人を目指した相談支援専門員でありたいものです。一度は私も四国巡礼をしたいと感じる今日この頃です。

※南愛媛療育センターの近くには41番札所（龍光寺）、42番札所（仏木寺）があります。こちらにお越しの折りはぜひお立ち寄りください。　（広報委員　小林正昭）

赤木専務理事 瑞宝双光章を受章

受章した赤木専務理事

赤木匠専務理事が4月29日、春の叙勲で「瑞宝双光章」を受章しました。

赤木専務理事は平成17年4月に旭川荘に入職するまで、岡山県庁で岡山地方振興局長、高梁地方振興局長などを歴任。平成の大合併に向けて市町村長らと話し合いを重ねるなど、各地を奔走しました。

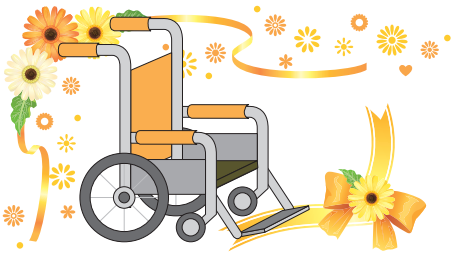
今回の受章は、その功績が評価されたものです。赤木専務理事は平成17年10月から現職に就き、法人本部の運営などに尽力しています。

サンエイグループより車いす3台寄贈

サンエイグループよりこのほど、旭川荘へ3台の車いすを寄贈していただきました。

岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町）で4月28日に行われた贈呈式には、竜ノ口寮、旭川療育園、グループホームはなみずきの施設職員が出席。サンエイグループ代表者より車いすを受け取り、竜ノ口寮の北野博史寮長が「皆さんの温かい気持ちを受け止め、大切に使わせていただきます」とお礼を述べました。

同グループでは、平成18年から社員の皆さんが集めたプルタブを車いすに換え、福祉施設などへ贈る社会貢献活動を実施。旭川荘への寄贈は平成20年度から毎年行われており、今回で9回目となります。



車いすの寄贈を受けお礼を述べる北野寮長（中央）

旭川荘ごよみ
SCHEDULE CALENDAR

6月

1～8月26日 常設展（夏）……旭川荘アートギャラリー
8～13日 ふれあいキャンパス ……竜ノ口寮
14～17日 写真・作品展（川崎医科大学附属病院）
……旭川荘関係施設
18日 ホタル祭 ……かわかみ療護園
望の丘ワークセンター
オープンキャンパス ……旭川荘厚生専門学院
23日 創立20周年記念式典 ……川上医療センター
☆ 旅行 ～各施設

7月

9日 夏まつり ……南愛媛療育センター
21日 ひらた旭川荘盆踊り大会 ……ひらた旭川荘
28日 第36回夏まつり旭川荘 ……旭川荘
☆ 七夕 ～各施設

旭川荘写真・作品展

写真や利用者が手掛けた製品を通して旭川荘の取り組みを紹介するイベント「第30回旭川荘写真・作品展」を6月14日から川崎医科大学附属病院で開催します。今回は「創る・働く・笑顔」をテーマに集めたスナップ写真約40点を展示。焼き菓子や雑貨、手工芸品など約1,000点を展示販売します。

日　　時：平成28年6月14日(火)～17日(金)
9：00～16：00　※17日は14：30終了
場　　所：川崎医科大学附属病院8階大講堂前
（倉敷市松島577）
問い合わせ：愛育寮（写真・作品展実行委事務局）
086-275-4644

編集後記

「真庭に来て、フェルト玉を買ってください」—。今年2月“さくらのはな工房広報部長”から企画広報室長にフェイスブックメッセージが届きました。発信したのは中芝伸輔さん。リクエストを受けて開所から2年経った真庭地域センターを訪れました。「地域の人たちとつながりたい」「支えてくれる人たちの期待に応えたい」…そんな想いを胸に黙々と“仕事”に取り組む人たちに胸が熱くなりました。

（広報委員　難波久江）